

Numerical Modeling of Particulate Mercury Dynamics in Coastal Environment: Case Study in Minamata Bay, Japan

エディストリ, ヌル, ファティヤ

<https://doi.org/10.15017/1866309>

出版情報 : 九州大学, 2017, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	Edistri Nur Fathya
論文名	Numerical Modeling of Particulate Mercury Dynamics in Coastal Environment: Case Study in Minamata Bay, Japan (沿岸域環境における粒状態水銀動態の数値モデリング: 水俣湾におけるケーススタディ)
論文調査委員	主査 九州大学 教授 矢野真一郎 副査 九州大学 教授 橋本典明 副査 九州大学 教授 久場隆広

論文審査の結果の要旨

本論文は、過去に水銀による汚染を受け、その後の環境修復事業により再生した水俣湾とその周辺海域を対象として、残留微量水銀のうち支配的な粒状態水銀の動態について将来予測可能な数値モデルの改良を試みたものである。この研究成果は、安全宣言の出されている水俣湾において、将来的な安全安心を確認できるツールを提供するものであり、長期的な予測シミュレーションへの展開を期待させる有益な知見を与えており、海岸工学や沿岸環境工学の分野で寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。